

令和2年度 杉並区施策評価表 I

(00006)

施策	06	魅力的でにぎわいのある多心型まちづくり
目標	02	暮らしやすく快適で魅力あるまち
施策担当課	市街地整備課	関係課 産業振興センターみどり公園課文化交流課

施策目標
 ○荻窪駅周辺では、商業機能や生活利便施設の集積及び利便性の高い都市空間の形成など、「都市再生まちづくり」が着実に進んでいます。
 ○駅を中心に区内各地域の特性を活かした魅力のあるまちづくりが進み、多くの人々が訪れたいと思えるようなにぎわいと活力が生まれています。
 ○まちなみ景観の視点から考えるまちづくり活動など区民一人ひとりの主体的な取組が進み、美しいまちなみづくりを支えています。
 ○「杉並」の知名度の高まりとともに、杉並の「良さ」、「らしさ」が区外にも周知され、持続的に集客力が高まり、にぎわいの創出につながっています。

活動指標		成果指標	
指標名(1)	地元住民や各種団体、関係事業者等との打合せ回数	指標名(1)	住環境に満足する区民の割合
算式・指標説明		算式・指標説明	区民意向調査による
指標名(2)	駅周辺まちづくりに関する懇談会・意見交換会等の開催数	指標名(2)	杉並区のまちを美しいと思う人の割合
算式・指標説明		算式・指標説明	区民意向調査による
指標名(3)	景観新聞(景観録)の発行部数	指標名(3)	区内全駅の1日平均乗降人員
算式・指標説明		算式・指標説明	各鉄道会社の公表による(JR4駅は乗車人員、他の駅は乗降人員の平均)実績及び目標値は前年度値を使用
指標名(4)	中央線あるあるプロジェクト新聞PR回数	指標名(4)	「すぎなみ学倶楽部」のアクセス数
算式・指標説明		算式・指標説明	ページビュー数
		指標名(5)	
		算式・指標説明	
		指標名(6)	
		算式・指標説明	

区分	単位	平成29年度	平成30年度		令和元年度		目標値	目標年度			
		実績	計画	実績	計画(目標値)	実績					
活動指標	活動指標(1)	1	回	35	37	24	24	56			
	活動指標(2)	2	回	8	8	7	5	10			
	活動指標(3)	3	部	6,000	6,000	17,500	17,500	17,500			
	活動指標(4)	4	回	16	16	16	16	17			
成果指標	成果指標(1)	5	%	91.1	93.5	92.7	94.0	92.6	95	令和3年度	
	成果指標(2)	6	%	78.8	82.5	79.7	83.0	78.6	85	令和3年度	
	成果指標(3)	7	人	734,505	731,000	748,182	745,000	759,900	759,000	令和3年度	
	成果指標(4)	8	件	613,897	640,000	627,401	650,000	767,743	670,000	令和3年度	
	成果指標(5)	9									
	成果指標(6)	10									
施策コスト	事業費	11	千円	179,401	185,843	175,240	189,639	178,496	特記事項		
	(内) 投資的経費等	12	千円	190	0	0	0	0			
	(内) 委託費	13	千円	110,127	110,735	106,534	116,450	110,703			
	職員数	常勤職員数(再任用含)	14	人	18.88	14.35	14.97	14.65	15.54		
		上記以外の職員	15	人	3.10	3.10	3.21	2.00	2.00		
	人件費(14+15+16)	17	千円	171,325	131,991	136,054	129,619	141,638			
	総事業費(11+17)	18	千円	350,726	317,834	311,294	319,258	320,134			
	国・都等からの補助金等	19	千円	9,646	5,488	6,147	12,492	11,877			
	総事業費伸び率(計画、実績の対前年度比)	20	%			△11.2	0.4	2.8			
	人件費比率(17÷18)	21	%	48.8	41.5	43.7	40.6	44.2			

<p>施策を取り巻く環境 (社会情勢、国、都の動き、 区民意見等)</p>	<p>これまで駅周辺は、まちづくりが進められて来ましたが、数十年が経ち環境の変化や建物の老朽化等により新たなまちづくりの必要性も出てきています。一方、既成市街地のため空地が少なく、再開発に伴う高度利用や商業地化に対して、様々な住民の意見があります。</p> <p>また、令和元年の訪日外国人旅行者数は約3,188万人(対前年比約2.2%増)となり、過去最高を更新しましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、今後の観光施策を取り巻く状況は不透明となっています。しかし、令和3年度に延期された東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けて、再び国内外から多くの観光客が東京を訪れることが見込まれます。そのような好機を逃さずに、地域に根差した「杉並ならではの」の魅力ある観光コンテンツを広域的に情報発信し、区の「にぎわい・商機」の創出につなげていく必要があります。</p>
<p>施策の総合評価 (計画事業の取組実績と 評価結果)</p>	<p>「にぎわい創出」に向けた取組として、区内JR中央線4駅周辺の魅力を発信する「中央線あるあるプロジェクト」を始め、国内外に区の観光情報を発信する「観光情報発信事業」等、様々な事業展開を図りました。その中で、区民ライターが区内の様々な魅力を紹介するWEBサイト「すぎなみ学倶楽部」では、ページビュー数が767,743件となり、目標値を上回りました。アニメを活かした取組については、他区とのアニメ連携の枠組みを拡大して事業を実施する等により、区への持続的な集客を図りましたが、杉並アニメーションミュージアムの来館者数は、新型コロナウイルス感染症拡大による休館等の影響により目標値を下回りました。</p> <p>「景観まちづくり」の取組として、「杉並景観録」を17,500部作成、配布しました。また、荻窪駅周辺では、「荻窪駅周辺都市総合交通戦略」に基づく取組として、駅北口広場にクールスポットとしてミスト装置の設置や交通事業者等と意見交換を行い、荻窪駅周辺サイン基本ルール(案)を作成しました。荻外荘については、復原・整備に向けて、(仮称)荻外荘公園整備基本設計に着手しました。さらに、荻外荘周辺エリアの歴史的文化的観光資源を活用する「荻窪の歴史・まち・人を想う15の提案」を策定しました。西荻窪駅周辺では、まちづくり方針の策定に向けた取組として、昨年度に引き続き、まちづくり懇談会等を開催するとともに、まちづくりだよりによる情報発信を行いました。</p>
<p>今後の施策の方向性</p> <p>改善・見直しの方向</p> <p>中長期</p> <p>今後の進め方</p>	<p>現状維持</p> <p>観光施策については、今後、新型コロナウイルス感染症の収束状況に応じて、近隣・近場での観光を楽しむマイクロツーリズムから、国内旅行の促進、さらに海外からの旅行者の受入れへと状況が変わっていくことが予想される中で、時機に応じた来街者の誘致を行い、区の「にぎわい創出につなげていくことが重要です。そのために、時機を適切に見ながら、「中央線あるあるプロジェクト」や「すぎなみ学倶楽部」等での情報発信、杉並アニメーションミュージアムの来館者数の増に向けたコンテンツ等の充実に取り組んでいきます。</p> <p>荻窪駅周辺については、三庭園(仮称)荻外荘公園、大田黒公園、角川庭園)の魅力を生かしたイベント等により機運醸成を図ります。また、乗換経路の改善を目指す「荻窪駅周辺サイン基本ルール」に基づく「(仮称)案内サイン整備基本計画」に従って、交通事業者と協力してサインの整備を行うとともに、(仮称)荻外荘公園の公開を見据え、地域の方々とともに荻窪の魅力と回遊性を向上させる取組を進めます。さらに、南北分断の解消と駅及び駅周辺の交通機能や利便性の向上に向けた分科会の設置について、調査・検討を行います。</p> <p>西荻窪駅周辺については、引き続き、地域住民等を対象としたまちづくり懇談会等を開催し、地域の動向を踏まえた、まちづくり方針の策定に向けた取組を進めます。</p>

令和 2年度 杉並区施策評価表 I

(00007)

施策	07	地域の特性を活かし将来を見据えた産業の振興
目標	02	暮らしやすく快適で魅力あるまち
施策担当課	産業振興センター	関係課

施策目標

- 区と区内産業経済団体等が一体となって様々な産業振興策を実施し、区内経済が着実に活性化してきています。
- 区内農業者等による地産地消の取組が行われ、学校給食へ農産物が提供されるなど、都市型農業の持つ多面性が生かされるようになってきています。
- 就労支援や創業支援等の取組により、多くの意欲ある現役世代等の就職が叶うとともに、創業が進んでいます。

活動指標		成果指標	
指標名 (1)	融資あっせん件数	指標名 (1)	就労支援センターの利用により、就職が決定した人数
算式・指標説明		算式・指標説明	就労準備相談及びハローワークコーナーを利用し、就職が決定した人数
指標名 (2)	装飾灯LED化及び防犯カメラ設置補助商店街数	指標名 (2)	創業支援による創業者数
算式・指標説明		算式・指標説明	区が実施する特定創業支援事業を利用し、区内で創業した事業者数
指標名 (3)	農家戸数	指標名 (3)	商店街への満足度
算式・指標説明		算式・指標説明	区民意向調査による
指標名 (4)	就労準備相談・心としごとの相談件数	指標名 (4)	区内農業産出額
算式・指標説明		算式・指標説明	東京都農作物生産状況調査による(目標及び実績は、当該年度において直近でとれる数値)
		指標名 (5)	
		算式・指標説明	
		指標名 (6)	
		算式・指標説明	

区分	単位	平成29年度	平成30年度		令和元年度		目標値	目標年度		
		実績	計画	実績	計画(目標値)	実績				
活動指標	活動指標 (1)	1 件	522	1,000	563	1,000	521			
	活動指標 (2)	2 商店街	22	17	21	16	11			
	活動指標 (3)	3 戸	137	137	135	135	129			
	活動指標 (4)	4 件	1,851	2,150	1,591	2,150	1,505			
成果指標	成果指標 (1)	5 人	783	850以上	719	850以上	646	年850以上	令和 3年度	
	成果指標 (2)	6 件	101	75	88	80	90	年45件	令和 3年度	
	成果指標 (3)	7 %	61.2	63	62.1	63	66.6	65	令和 3年度	
	成果指標 (4)	8 (百万円)	321	355	317	360	315	370	令和 3年度	
	成果指標 (5)	9								
	成果指標 (6)	10								
施策コスト	事業費	11 千円	742,450	2,179,394	2,120,574	768,919	678,923	特記事項		
	(内) 投資的経費等	12 千円	0	0	0	0	0			
	(内) 委託費	13 千円	219,547	253,408	238,303	225,460	216,202			
	職員数	常勤職員数(再任用含)	14 人	16.75	15.00	16.60	15.50	18.28		
		上記以外の職員	15 人	10.15	11.00	11.00	10.00	11.00		
	人件費(14+15+16)	17 千円	173,781	161,249	173,852	161,494	193,245			
	総事業費(11+17)	18 千円	916,231	2,340,643	2,294,426	930,413	872,168			
	国・都等からの補助金等	19 千円	138,178	104,564	94,489	113,041	82,171			
	総事業費伸び率(計画、実績の対前年度比)	20 %			150.4	△60.2	△62.0			
	人件費比率(17÷18)	21 %	19.0	6.9	7.6	17.4	22.2			

<p>施策を取り巻く環境 (社会情勢、国、都の動き、 区民意見等)</p>	<p>近年、日本経済は穏やかな回復基調にありましたが、令和2年3月以降、新型コロナウイルス感染症の影響により、大きな打撃を受けています。この影響は今後も長引くことが見込まれ、区内の中小企業や商店街等に適時適切な支援を施していく必要があります。</p> <p>農業では、特に都市部において相続や後継者不足などから農地面積及び農家戸数は減少傾向にあります。令和4年(2022)には、区内のほとんどの生産緑地が指定から30年の期限を迎えることもあり、これらの生産緑地の所有者に対し新たな農地保全制度である特定生産緑地の指定に向けての周知・支援を図ることが重要となっています。こうした中、農地は新鮮な地元農産物の生産の場のみならず、区民にやすらぎや潤いを与える場、防災上のオープンスペース等の多様な役割を果たすものであるため、引き続き適切に保全を図る必要があります。</p>
<p>施策の総合評価 (計画事業の取組実績と 評価結果)</p>	<p>平成30年度に改定した杉並区産業振興計画に基づき、区内産業の振興に取り組みました。</p> <p>新たな商店街活性化策として、若手事業者との懇談会やワークショップによる魅力ある商店街づくりを進めることを検討しました。また、計11商店街に装飾灯のLED化や防犯カメラの設置補助を実施し、安心・安全な商店街の環境整備を支援しました。中小企業支援では、中小企業資金融資あっせん制度の「創業支援資金」利率の引き下げや、都の信用保証料補助併用の見直しを行ったものの、融資あっせん件数は平成30年度と比較して42件の減少となりました。新型コロナウイルス感染症の影響に関しては、令和2年3月に「新型コロナウイルス感染症対策特例資金」を新設するとともに、商工相談員を増員し、相談体制の充実を図りました。</p> <p>農業分野では、都市農地の保全と都市農地が持つ多面的な機能を発揮する新たな取組として、農業と福祉の連携事業を区民ボランティアの協力を得ながら推進し、農福連携農園で収穫体験や収穫物の福祉施設への提供などを実施しました。農家戸数は年々減少傾向(平成30年度比6戸減)にあり、区内農業産出額は微減(平成30年度比2百万円減)傾向にあります。引き続き、農業者に特定生産緑地制度など農地保全のための新たな制度の周知とともに、区民が気軽に農業に親しめる機会の創出に努め、農業への理解を深めていきます。</p>
<p>今後の施策の方向性</p> <p>改善・見直しの方向</p> <p>中長期</p> <p>今後の進め方</p>	<p>現状維持</p> <p>区内産業経済団体等と連携し杉並区産業振興計画を着実に推進していくとともに、適時適切な新型コロナウイルス感染症対策を実施していきます。</p> <p>中小企業支援では、新型コロナウイルス感染症の影響により売上げが減少したり、経営が困難となった中小企業などへの支援として、店舗の家賃助成や廃業した事業者への家賃助成など新たな事業を実施します。また、近年改善傾向にあった雇用についても、今後、悪化が懸念されることから、引き続き一人ひとりの状況に応じた就労支援を継続していきます。</p> <p>商店街支援では、新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら、イベント事業への補助や若手事業者との懇談会等により新たな商店街活性化策の検討を進め、にぎわい回復の支援につなげていきます。</p> <p>農業においては、引き続き、特定生産緑地等の新たな制度周知と、区民が農にふれあう機会の創出や地産地消の推進などに継続的に取り組み、都市農地の保全につなげていきます。</p> <p>また、農業と福祉の連携事業では、農園運営と平行して農園のPRや区民ボランティアの募集などを進めながら、区内福祉施設等の運営に寄与する取組の充実を図り、管理棟など必要な工事を進め令和3年4月の全面開園を目指します。</p>

令和 2年度 杉並区施策評価表 I

(00008)

施策	08	水とみどりのネットワークの形成
目標	03	みどり豊かな環境にやさしいまち
施策担当課	みどり公園課	関係課 土木計画課
施策目標	○住宅都市に調和したみどりと建物でまちなみが構成され、自然が回復した川と古くからある屋敷林や農地が点在するなど、誰もが自然と共存することに感動と親しみを持つことができる成熟したまちづくりが着実に進んでいます。 ○防災機能を併せ持つ公園やオープンスペースが整備され、みどりがつながり、みどりの総量も増加しています。	

活動指標	成果指標
指標名 (1) 接道部緑化助成延長 算式・指標説明 目標値は実行計画数値	指標名 (1) 緑被率 算式・指標説明 29年度目標値はみどりの基本計画における30年度目標値、実績値はみどりの実態調査による(5年に1度)
指標名 (2) 保護樹木指定本数 算式・指標説明 目標値は実行計画数値	指標名 (2) 区民一人当たりの都区立公園面積 算式・指標説明 公園緑地等面積÷人口
指標名 (3) 区立公園管理面積 算式・指標説明	指標名 (3) 算式・指標説明
指標名 (4) 当該年度に整備した公園面積 算式・指標説明	指標名 (4) 算式・指標説明
	指標名 (5) 算式・指標説明
	指標名 (6) 算式・指標説明

区分	単位	平成29年度	平成30年度		令和元年度		目標値	目標年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績			
活動指標	活動指標 (1)	1 m	215	350	162	350	290		
	活動指標 (2)	2 本	1,541	1,750	1,491	1,750	1,463		
	活動指標 (3)	3 m ²	650,162	653,493	649,661	655,534	649,661		
	活動指標 (4)	4 m ²	1,433	2,240	2,239	5,873	0		
成果指標	成果指標 (1)	5 %	21.77	23	21.77	23	21.77	25 令和14年度	
	成果指標 (2)	6 m ²	2.07	2.15	2.07	2.15	2.10	2.46 令和 3年度	
	成果指標 (3)	7							
	成果指標 (4)	8							
	成果指標 (5)	9							
	成果指標 (6)	10							
施策コスト	事業費	11 千円	4,284,551	2,156,413	2,053,646	5,776,484	5,656,950	特記事項	
	(内) 投資的経費等	12 千円	3,005,970	682,315	637,074	4,229,463	4,175,083		
	(内) 委託費	13 千円	1,402,523	1,471,296	1,395,820	1,899,789	1,817,221		
	職員数	常勤職員数(再任用含)	14 人	73.25	71.42	78.16	68.69		71.19
		上記以外の職員	15 人	19.48	18.88	21.61	19.91		4.00
	人件費 (14+15+16)	17 千円	569,952	553,003	613,554	547,073	534,123		
	総事業費 (11+17)	18 千円	4,854,503	2,709,416	2,667,200	6,323,557	6,191,073		
	国・都等からの補助金等	19 千円	378,135	68,700	22,900	1,322,871	1,073,786		
	総事業費伸び率 (計画、実績の対前年度比)	20 %			△45.1	133.4	132.1		
	人件費比率 (17÷18)	21 %	11.7	20.4	23.0	8.7	8.6		

<p>施策を取り巻く環境 (社会情勢、国、都の動き、 区民意見等)</p>	<p>みどりの量の指標である緑被率は、昭和47年度の第1回調査では24.02%でした。平成9年度には17.59%まで減少しましたが、緑化意識の向上や緑化技術の進展により、平成24年度には22.17%まで増加しました。前回の平成29年度の調査では、21.77%と微減しており、今後の動向を注視する必要があります。杉並区のみどりの半分以上を占める民有のみどりである屋敷林や農地については、減少が続いています。</p> <p>大規模な地震が続くなか、区民からは安全・安心に暮らすために防災機能を備えた公園や災害時に避難できるオープンスペースの確保が求められています。一方で、区民の公園に対するニーズは多様化しており、区民ニーズに応じた公園づくりも求められています。</p>
<p>施策の総合評価 (計画事業の取組実績と 評価結果)</p>	<p>区は公共のみどりの拠点となる公園等の整備を進め、みどりと水のネットワークの形成を推進しています。また、杉並のみどりの約7割を占める民有のみどりを保全・創出するため、保護指定や緑化計画・緑化助成を促進しています。特に、大規模な民有のみどりである屋敷林や農地を保全するため、「杉並区緑地保全方針」や都区市町村合同による「緑確保の総合的な方針」に基づく取組を進めました。しかしながら、平成29年度に実施したみどりの実態調査では緑被率が前回調査よりも減少しているため、緑化計画や緑化助成制度の周知を強化するなど、より一層みどりの創出に努めています。区内の河川では、東京都と連携した河川整備を進め、治水安全性を高めながら水辺環境の再生・創出に努めました。また、区民とともに水鳥一斉調査を行い、調査結果等を区ホームページやイベントなどで広く周知し、川への理解を深めるよう情報発信に取り組みました。</p> <p>公園では、馬橋公園において拡張用地を取得し既存建物を解体したほか、柏の宮公園の拡張整備を行いました。また、「杉並区公園施設長寿命化計画」に基づき27公園で公園施設の更新・補修を行うとともに、「杉並区多世代が利用できる公園づくり基本方針」に基づき10公園の改修案を地域住民とともにまとめました。さらに、「(仮称)荻外荘公園の整備基本計画」を策定しました。目標とする一人当たりの公園面積の確保を目指し、引き続き公園の整備を推進していきます。</p>
<p>今後の施策の方向性</p> <p>改善・見直しの方向</p> <p>中長期</p> <p>今後の進め方</p>	<p>現状維持</p> <p>杉並区のみどりの特徴として、屋敷林や農地といった民有のみどりが約7割を占めています。これらのみどりを後世に引き継ぐために「杉並区緑地保全方針」に基づく取組を推進していきます。特に、農地については、令和4年に生産緑地の指定から30年を迎え、解除による宅地化が予測されることから、関係部署と連携して特定生産緑地への移行を促進していきます。</p> <p>水辺環境の整備については、水鳥一斉調査などにより、環境への関心を高め意識啓発を図るとともに、東京都をはじめとした関係機関との連携により、自然に配慮した河川整備や河川施設の適切な維持管理に引き続き取り組みます。</p> <p>区立公園については、多様化する区民ニーズに対応するため「杉並区多世代が利用できる公園づくり基本方針」に基づく取組を推進していきます。また、特に木造住宅密集地域等を中心に安全・安心のまちづくりに寄与する防災機能を備えた公園づくりに取り組みます。国指定の史跡である荻外荘については、歴史的・文化的に魅力ある公園となるよう基本設計を進めていきます。</p>